

北九州 ESD アクションプラン改定概要

1 取り巻く状況の変化

(1) 持続可能な開発目標(SDGs)の推進

2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標 SDGs (持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)は、持続可能な社会を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。2015年のSDGs採択以来、世界規模で、政府、ビジネス、ファイナンス、市民社会、消費者、地域の住民やNPO、教育機関、研究機関、地方自治体、議会といった様々なステークホルダーが行動を起こし、SDGs達成に向けた多大な努力が行われ、取組が進展している。

その中でも、「持続可能な社会の創り手」を育成するという観点から、教育は、SDG4の達成において重要な役割を果たすとともに、持続可能な社会の創り手として求められる「学びに向かう力、人間性等」を育むことにより、地域や世界の諸課題を自分ごととして考え課題解決を図る人材の育成に寄与し、SDGsの17全てのゴールの達成の基盤を作るという極めて重要な役割を担っている。

(2) 「持続可能な開発のための教育:SDGsの達成に向けて(ESD for 2030)」の採択

2015年以降のESD実施枠組みであるESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)は、世界で2,600万人がESDカリキュラムを学び、200万人の教育者がESD研修を受け、ESDの推進が大きく前進した。

その後継として、2019年第74回国連総会で採択された「ESD for 2030」では、ESDが質の高い教育に関するSDGsに必要不可欠な要素であり、その他の全てのSDGsの成功への鍵として、ESDはSDGsの達成の不可欠な実施手段であることが明記されている。

(3) 本市における状況と取組の成果・課題について

2015年国連サミットでSDGsが採択された後、北九州市では、2017年の「ジャパンSDGs特別賞」の受賞を皮切りに、2018年4月にOCEDよりアジアで初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定、6月には国より「SDGs未来都市」(全国29自治体)及び「自治体SDGsモデル事業(全国10事業)」に選ばれた。

一方、2006年に設立した北九州ESD協議会は、現アクションプラン策定後、拠点を「まなびとESDステーション」に移し、市民・NPO、企業、学校等と協働の取組を拡大して、5つのプロジェクトとさまざまなステークホルダーたちによる運営委員会を発足させ、各会員がそれぞれの分野において5年間活動を広げてきた。事務局体制も2017年より専属コーディネーターを設置し、会員と地域などをつなぐ取組を実施してきた。

さまざまな事業を会員等とともに実施した結果、2017年には協議会は「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞した。また、会員においても、それぞれにおいて活動は発展していき、「まなびとESDステーション」の位置する魚町商店街が、協議会との協

働のもと、SDGs 商店街として発展するなど、協議会の活動は、北九州市の「持続可能な社会づくり」の貢献の一つとなって、「SDGs 未来都市」へ選定されたことは大きな成果であろう。

このように多岐にわたるESD活動を展開しているが、今後のESDとSDGsとの推進など様々な課題を抱えており、それらを解決のため、本アクションプランの見直しが必要に迫られている状況である。

2 プラン改定の進め方

2019年に国連で採択された持続可能な開発のための教育:SDGsの達成に向けて(ESD for 2030)を受け、2020年度中にESD for 2030国内実施計画策定予定である。そのため、今後の国の動向や推進施策等を踏まえた上で、本アクションプランの改定を行うこととする。

また、プラン改定には、協議会の会員交流を行いながら行うワークショップを複数行うことで、会員の意見を優先して新アクションプランへ取り入れる。さらに、ESD検討会においては、協議会運営委員会を中心に構成し、この5年間での活動経験をもとに、協議会外部より学識者の方々に委員として加わっていただくことで、客観的な意見を取り入れることで広く北九州らしいプランの改定を進めていく。

3 対象地域

北九州地域

4 計画期間

2021年～2025年

5 スケジュール

	時期	内容	国等
2020年度	9月～10月	第1回検討会開催	国内実施計画策定予定
	10月～12月	新アクションプラン素案作成	
	12月～1月	第3回会員向けワークショップ開催	
	1～2月	第2回検討会開催	
	3月	新アクションプラン案確定	
21年度	4月	パブリックコメント募集	
	5月	第3回検討会開催	
	6月	総会にて承認	